



快ち良い汗を流して心も体もリフレッシュ。
定期的に体を動かす事を心がけましょう。

みんなで参加!! 楽しもうスポーツを、 つくろう健康を

～生涯スポーツ推進事業をスタート～

「生涯スポーツ」という言葉が、我が国で一般的に聞かれるようになったのは一九七五年（昭和五十年）以降のことでした。この頃、生涯教育の必要性が叫ばれ、実質的な推進策が広く要請され始めました。その中で「生涯スポーツ」が重要視されるようになったのです。

これからのスポーツは

ここ数年、幼児から中高年に至るまで幅広い年齢層にわたって、スポーツ活動を日常的に親しむ人が増加しています。それは、従来のスポーツは概ね体力を養い競技に強くなる事でした。しかし、最近のスポーツは福祉の向上や人間性の回復が強く叫ばれるにつれ、志向が多様な広がりを見せています。

生涯スポーツ振興推進計画

そこで小須戸町においても、「生涯にわたる運動・スポーツを通して、町民が相互に助け合い生き生きと活動し、健康で明るい生活を営むことの実現に努める」を目標として、生涯スポーツ振興を推進していくことになりました。推進は年次計画により、逐次これを実施していく予定です。

年齢階層における目標

- ◆乳幼児
親と子の触れ合いの場を通して身体的、精神的な成長を促す。
- ◆在学青少年
親と子の交流を深め、心身ともにたくましい少年の育成とスポーツ少年団の育成を図る。
- ◆青年
生涯を通してスポーツに親しむ習慣の形成を図る。
- ◆成・壮年
社会的に多忙な成・壮年層のスポーツ活動への参加を推進する。



さわやかスポーツ教室「バドミントン」

ちよこつと一言 (38)

神を敬う心にさせた動機

昔の話で恐縮ですが、私は、昭和七年九月に金比羅様に参拝旅行に行きました。千三百段もの階段を登り参拝した後、宿に着きました。しばらくして私は財布が見当らなくなり大変困りました。というのも財布には御大典記念（昭和天皇即位）の金貨が入っており、それだけでも相当な価値があったのです。困ったあげくにもう



中村信作 さん

一度金比羅様にお参りに行き「財布が戻りますように」と祈願しました。すると宿に帰ると財布がすぐ見つかったのです。私はあまりの奇跡に感激しました。そして又すぐ金比羅様に行き手を合わせて御礼をのべてきました。一日に三回、千三百段もある階段を登った事を今も忘れません。それ以来、困った時の神だのみでなく常日頃から、敬う心を忘れずと思っています。

高齢層

日常生活に適度の運動を取り入れ、心身の若さを保ち、生きがいのある生活が送られるようなスポーツ活動を推進する。

婦人

婦人の健康・体力の維持増進と社会的交流を図るため、スポーツ活動への参加を推進する。

本年度の取り組み

- 一、さわやかスポーツ教室（ふれあい会館の一般開放です）
- 二、町民体力づくり教室（町体育指導委員が指導してくれます）
- 三、エアロビクス教室
- 四、初心者テニス教室
- 五、幼稚園児水泳教室
- 六、野外活動教室
- 七、ナイトウォーク
- 八、親子レクリエーション
- 九、初心者スキー教室
- 十、若返り教室（高齢者を対象に健康体操やストレッチを）

新しい分館長と分館主事紹介

楽しい活動にするため頑張ります。（敬称略）

<小須戸分館> 分館長 保科唯雄（中央町1） 主事 川瀬俊子（中央町1）	<新保分館> 分館長 川瀬哲治（文京町2） 主事 米田作一（新保）
<矢代田分館> 分館長 平間安雄（天ヶ沢2） 主事 松田秀治（矢代田小）	<横水分館> 分館長 野崎迪夫（小向） 主事 吉田和幸（横川）

花と緑の小須戸町 植木盆栽まつり

毎年恒例となっています小須戸町園芸組合（代表笠原茂樹さん）主催の第十六回植木盆栽まつりが、五月三日、四日、五日の三日間、うでこき地内の花木センターで開催されました。初日の三日は五月としては肌寒く雨も降るあいにくの天気でしたが残り二日間、快晴に恵まれました。おかげで期間中一万五千人以上の人が県内外から訪れたということです。



読んでつくする豆知識

花びんの中に十円玉を入れると花が長持ちします。

（水中に銅イオンが出て腐るのを防ぐ。夏場におすすめ）

菩提寺山整備記念ハイキング 三十名、元気に登山

四月二十九日の朝は曇りでしたが、曇りから雨という予報でしたが、商工会青年部主催の菩提寺山ハイキングに参加してきました。参加者は商工会長の中野さん、青年部のみなさん、一般参加者三十名でした。菩提寺山の山道は小須戸町がふるさと創生資金の一部を充て整備してきたものです。午前十一時、矢代田保育園前を出発。登山道には砂利が敷かれました。矢代田保育園に到着、解散する頃には皮肉にも快晴となっていたのです。町では菩提寺山にふるさと創生一億円の現金全額を充てる事になったと聞きました。多額な資金をかけるからには、町民が気軽に集って、なるほど、さすが小須戸町と言われるような整備を望みます。（中央公民館 岡謙吾記）



（中央公民館 岡謙吾記）

役場よりお知らせ

平成3年度新潟県持家住宅建設資金貸付事業第一回募集のご案内
この制度は、住宅を建設しようとして自己資金の不足する人のうち一定の資格要件を備えた人に対して資金を貸し付けることにより、県民の持家住宅の建設を促進するものです。
募集期間 5月28日～6月11日
問合せ先 取扱金融機関の窓口（第四銀行・新潟中央銀行・協栄信用組合等）
県庁建築住宅課
※小須戸町役場建設課に資格要件などを記載した案内文書が置いてあります。

明るく楽しく仲良くが モットーです

講座・教室スタートしました

四月からの中央公民館主催（一部文化協会共催）の講座・教室がスタートしました。今年度の講座教室は親子チャレンジ教室、手話教室、表装教室など十四の講座・教室です。参加者は二百三十人余（五月一日現在）となりました。今年も大勢の参加を頂き感謝いたします。

今年度からふれあい会館で、生花教室、手話教室、手づくりおやつ教室を開きました。みなさんの関心が高かったせいか、いづれも参加予定数を上回り、一部申込みの方をお断りする程でした。

公民館の講座・教室は誰でも参加して頂けます。まだ申込みを受け付けている教室もあれば



作ったあとはおいしく食べる

敬老ふれあい芸能大会は大盛況

天ヶ沢民謡クラブ 平間昭一



四月七日、曇空だが幸いに雨が降らない。しかも結構暖かい。開演の午前十時頃になると、たくさんの方が会場のふれあい会館にやってきてくれた。始めて会館に入る人も多いらしく建物の新しさ、立派さに感心している。

敬老ふれあい芸能大会は、地域のみなさんに楽しんでいただくため、天ヶ沢民謡クラブ、天ヶ沢地区天代田分館などが主催・後援した催し物である。

開演は威勢の良いドンパン節の合唱で始まり、唄に踊り、津軽三味線、喧嘩太鼓、そして長沢一座の出演に観客一同拍手であつた。お昼頃には会場も一杯になり、主催側としては誠にうれしい限りである。「本当に良かった。ぜひ来年も見せて欲しい」という声に出演者、スタッフ一同感激であつた。

新しい会館のホールで、出演者、音響や照明のスタッフ、観客が一体となった一日であつた。人間は一人では何も出来ないけれど、みんなが一生懸命やれば、こんな立派な大会もやる事が出来ると肌で感じた大会であつた。

リングプル吸着機



催し物のご案内

ふれあい会館出張文庫

期日 毎週金曜日午後一時三十分から四時三十分まで

第七回小須戸地区
楽結連合会発表会

期日 六月九日（日）
午前十一時開演

会場 中央公民館三階ホール
主催 小須戸地区楽結連合会

六月のふくろう講座

「銀色の足あと」 星野富弘さんと渡辺さんと二人二脚みのる

期日 六月十四日（金）午後七時三十分から九時まで

会場 中央公民館二階会議室

花と緑と交通安全

小須戸町は「花と緑の町」と「交通安全宣言町」です。その活動の一環として商工会青年部が町の委託を受け、五月五日、新保から矢代田への県道脇（農協倉庫近く）に苗木と球根を植えました。

午後一時から商工会青年部二十名が汗だくになってサルビア九百本、カンナ三百個を五時間かけて植えました。サルビアは今月末から八月にかけて、カンナは七月末から十二月まで咲き私達の目を楽しませてくれるでしょう。

商工会青年部では、「ゆとり運転を願って植えまし

お話 大塚正勇さん（新津市）

第6回さつきマラソン大会
「さつきの苗木をプレゼント」

期日 六月二日（日）午前八時三十分受付十時スタート

集合 中央公民館

種目 三km（小学生以上・親子ペア）
五km（中学生・高校生・一般女子）
十km（高校生・一般男子）

参加料 一人二百円（保険料）
申込み 中央公民館へ
主催 教育委員会、陸協

新会員募集

期日 六月九日（日）
午前八時三十分受付

会場 小須戸中学校体育館

種目 男子団体（三人一組三シングル）
女子団体（同）
男子個人、女子個人、初心者部

参加費 団体二百円、個人百円
申込み 中央公民館へ
主催 卓球協会、体協

小須戸分館

今年も歩こう早朝ウォーク

期日 五月十五日（水）から六月十四日（金）まで。尚、土

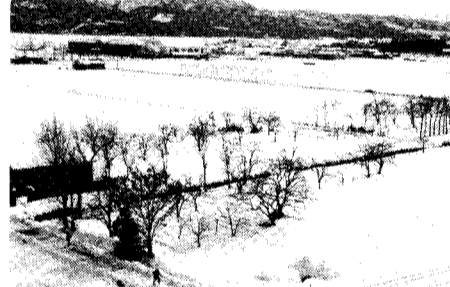
図書だより

参加者 成人のみ
集合場所 中央公民館前
集合時間 午前五時三十分（初日のみ五時十五分集合）
六時十分解散予定です。

服装 軽装で帽子とタオル持参
※コースは横川方面、ウデコキ方面、新保方面とします。はや足グループとのんびりグループとで歩きます。

この本番ですが、秋山豊寛、久弥勝子、石見勝子、石塚英一、つかこうへい、涙はひとり流すもの、大橋歩、辻邦生、椎名桜子、鈴木出版、共同通信社、セクシヤルハラスメント、鈴木まり子、星野富弘、二浦朱門、大宅昌

こすどまち今昔写真展(1)



(昭和40年)



(現在)

小須戸町役場屋上からの風景 場所 若葉町2

現在の役場屋上から鎌倉、田上方面を望む。一面水田だった土地も、住宅が建ち並び、中央線など道路も整備され、昔の面影として残るのは旧小学校体育館ぐらいなもの。はざ木も今は小須戸にはほとんど残っていない。

（今月から館報誌上で今昔写真展を連載します。みなさんがお持ちの昔の小須戸町を撮った写真がありましたらご紹介下さい。）

小須戸川柳会

題「足」

勇み足すまぬ気持ちの勝ち名のり
戦争を知らぬ平和と伸びた脚
坊さんの背へ耐えている痺れ足
禁足も解けてうれい春の径
酔っぱらい足のもつれに肩を貸し
断ち切れぬ思慕に無駄あし踏んでみる
立ちそばの足を急かせる発車ベル
足もとを忘れグルメの全盛期
合格を信じて尚も地に付かず
人生の二人三脚あせらない
黒タイツに魅せられダンスの門くぐる
抜き足でそと出て行く一人旅
幸せは足腰のばす仕舞風呂
足元に良い嫁さんが見つかる日
七彩のラインダンスの脚線美
寝め上手足から先に寝てゆく

加藤米二
長井武雄
高橋ただし
栗原ひさし
吉田源吾
駒村幸世
松沢キヨ
安達キヨノ
渡辺信子
玉村タネ
吉田みな
小見ケン
保科志枝
藤井春江
我妻清作
岡田良平

短歌クラブ作品

春の雨晴るる狭庭の静かなり小鳥の声をし
じみと聞く 鈴木ハナ

初めての蕾はころぶ梅若木いま洗礼か春雪の
舞う 長井利恵子

川土手の路肩に煙かがまりて近づくと祭りの餅
草摘みぬ 牧野信雄

吹く風に梅散りそめし朝にして来しき刻を惜
しみつつ見る 村山浩子

眠りつつ産湯に入れし嬰兒は小さき孝丸をお
湯に浮かせて 高橋キヨ

満開の桜に遊び若者の後に並びてカクレメ焼き
買う 安達順子

四月例会作品

小須戸町俳句同好会

目を開き心の様を花の闇
おくれ毛を掻き上げて子の入学す 吉田素糸

ゴムの葉のほこり目立ちて春隣り 佐久間文子

職解かれ吾に春眠ありにけり 名古屋登喜

昨日二分今日は満開土境の花 吉田ミナ

母の忌の水仙匂ふ仏間かな 五十嵐香月

村ひとつ鶯の輪にある四温風 小林富沙子

花の香をふわりとまとう夜の帳 間島秀穂

花満開小学校の白亜見ゆ 田中美根子

街灯と花の並木が村つなく 中野太浪

彼方より犬連れてくる夜の桜 丸山虚秋

文机に仏書一冊花の雨 内山越楼

間野良遊

俳句教室作品

晴るる日の岸辺に揺れし猫柳
若き日の帯胸高に針供養 松沢キヨ

木の芽晴ささなみ光る信濃川 藤井春

大安の晴着のうなじ木の芽風 牧野信雄

歩をとめて花びら浴びし乳母車 荒木愛子

又ひとつ通夜の知らせや木の芽時 山崎しず枝

吉田美樹子